

# 國學院大學栃木高等学校 インターアクトクラブ

高校生ボランティア・アワード2020

## 「地域の方々・他団体との交流」

- ①地域ボランティアへの参加(福祉活動・地域振興)
  - 台風19号災害ボランティア[R2年11月23日]  
浸水した家屋の泥だし、清掃など
  - わいフェスin大平ねずみもちパーク[R2年8月22日]  
子どもの遊びの見守り、サポートスタッフ
  - かかしとマルシェ[R2年9月21日]  
受付業務、紙ひこうき作りのサポートなど
- ②セミナー、大会への参加
  - インターアクト地区大会 [毎年参加、3年前は主催校]  
栃木県内各校の活動報告、講演会など
  - 第17回高校生RYLAセミナー(模擬国連)[毎年]  
各国の大使として、「水問題」や「難民問題」について議論
  - 台湾国際研修[平成31年3月26日～29日]  
現地校訪問、ロータリークラブとの交流
  - 募金活動[毎年文化祭にて]  
災害支援を目的とした募金活動



## We are all connected ～インターアクトクラブと栃木市～

私たちインターアクトクラブは現在のコロナ渦で、主に栃木市内のボランティアに参加しています。

活動テーマである“We are all connected”は、2年前の先輩方が考えたもので、「私たちは皆つながっている」という意味です。地域、環境、福祉、海外の国々とのつながりを大切にした活動を心掛けています。

学校では月に一度ペットボトルのキャップの回収、そしてキャップリサイクルの収益をポリオワクチンに変えるエコキャップ運動をしています。

### 目標

- コミュニケーション能力を高める
- 地域とのかかわりを深める



## Help me を見逃さない！ ～幅広い福祉・支援・交流活動～



### 国際交流

海外の人達と深く関わることで自分たちの活動の幅を広げる

- ・留学生の受け入れ
- ・台湾国際研修



### 校内活動

活動は、先生方や地域の方々、生徒の協力もあり充実しています

- ・道着の回収
- ・学校祭での募金活動
- ・ペットボトルキャップ回収

Help me



### 奉仕活動

自分たちのことだけでなく自分たちの周囲の人にも手を差し伸べる

- ・台風19号災害ボランティア

### 地域との交流

地域のボランティア活動に参加し、今後の活動につなげる

- ・わいフェスin大平ねずみもちパーク



## 「地域社会に寄り添って」

1. 栃木市のボランティア活動に積極的に参加し、地域の方々との交流を通して、より多くのことを発見していく。
2. 地域の方々から、インターアクトクラブにより多くのボランティア活動の依頼をしてもらえよう積極的に活動する。
3. 栃木市及び栃木県に観光しに行きたいと思ってもらえるよう、他県の人に魅力を伝える活動をしていく。



### 活動団体プロフィール

1994年6月3日 インターアクトクラブ創立

現在部員数

男子：4名 女子：27名 合計31名

会長(部長) : 星野 佑太(2年)  
副会長(副部長) : 木村 愛由菜(2年)

校訓 「たくましく 直く 明るく さわやかに」